

エコアクション21 環境活動レポート

2023年度

取組対象期間：2023年1月～2023年12月
(第5版)

発行日：2024年3月20日

三井工業 株式会社

目次	ページ
1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	1
3. 環境方針	2
4. 環境目標	3
5. 環境目達成状況実績	4
6. 環境活動計画と取組結果及びその評価、	5
7. 次年度の目標と活動計画	6
8. 環境関連法規制の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	7
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	7

1. 組織の概要

(1) 事業者名 三井工業株式会社

代表者名 代表取締役 坂本 聡

(2) 所在地 〒882-0024 宮崎県延岡市大武町779番地8

(3) 環境管理責任者氏名 坂本 聡

連絡先 電話 0982-33-0456 FAX 0982-35-3537

メール sanko03a@yano-kogyou.co.jp

(4) 事業の内容

- ・土木一式、とび・土工・コンクリート、石工、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、水道施設
- ・公共工事下請工事 (土木一式、舗装、上下水道、法面、鋼構造物、解体)
- ・民間工事下請工事
- ・民間建築外構工事

(5) 事業の規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
工事件数	件	34	31	24	24
人員	人	13	13	11	11
本社床面積	m ²	35	35	35	35

(6) 事業年度

1月から12月

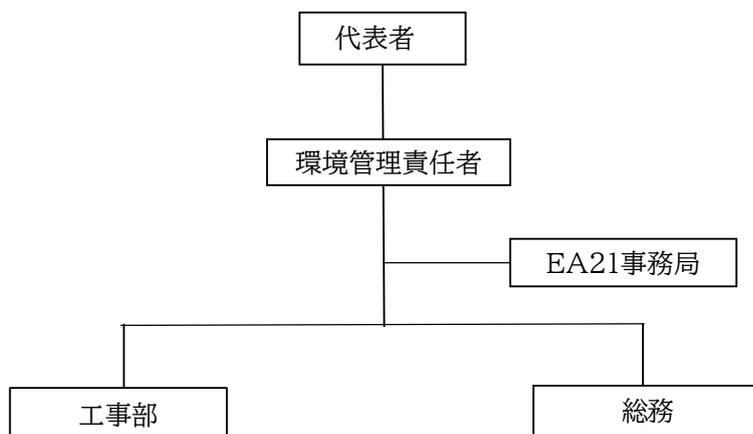
2. 認証・登録の対象範囲(全組織・全活動)

(1) 事業活動

土木一式、とび・土工・コンクリート、石工、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、水道施設

(2) 対象事業所 本社

(3) 推進組織



3. 環境方針

基本理念

「すべては人の質にある」

すべてのものが、人によって行われるとすれば、思いやりと勇気を持ち、まごころと報恩を忘れず、社会的規範を守り、地域に貢献できる人づくりを行うことが我々の使命である。

企業理念

私たちは土木工事全般の施工を通して、品質を確保し、地球環境に配慮した活動を通して顧客の信頼を得られるよう努力いたします。

環境方針

①省エネルギー、CO₂など温室効果ガスの削減目標達成に努力することにより、環境保全に貢献するために、下記の事項を重点項目として目標を設定し取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量の削減
2. 廃棄物リサイクル率の向上
3. 水使用量の削減
4. グリーン購入の推進
5. 施工精度の向上(不良購入削減)

②環境保全に関する取組状況の評価、見直しを定期的に行い、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

③環境関連法規制を遵守します。

④従業員に対し、環境に関する教育を計画的に実施し、環境方針を周知するとともに環境問題への意識向上を図ります。

制定日：2020年1月1日
三井工業株式会社
代表取締役 坂本 聡

環境目標(第一次)

作成日	改訂日	責任者	作成者
2023/1/10		坂本	森山

環境目標	サイト	基準値 2019年度 実績	中期目標		
			2023年度 (3.2%削減)	2024年度 (3.5%削減)	2025年度 (3.8%削減)
		2019年1月～ 2019年12月	2023年1月～ 2023年12月	2024年1月～ 2024年12月	2025年1月～ 2025年12月
1、二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	全体	62,605	60,602	60,414	60,226
① 電気使用量による CO2 (kg-CO2)	事務所	4,722	4,571	4,557	4,543
③ ガソリン消費量による CO2 (L)	現場	8,998	8,710	8,683	8,656
④ 軽油消費量による CO2 (kg-CO2)	現場	48,885	47,321	47,174	47,027
2、産業廃棄物の リサイクル率向上 (%)	現場	91.4	(3.2%向上) 94.3	(3.5%向上) 94.6	(3.8%向上) 94.8
3、水使用量の削減 (m ³)	事務所	279.1	270.2	269.3	268.5
4、施工精度の向上 (%)	現場	145%	145	145	145

備考

- 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力調整後排出係数0.371を使用
- 化学物質の使用はなし
- 自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善目標は、施工精度の向上として施工前の設計数量に対して購入した材料の実績の割合で求める。

改訂履歴

- ①二酸化炭素排出量の削減は、事務所の電気と現場使用のガソリンと軽油を対象とし、事務所のガソリンは他社と共有のため対象外とする・・・2021.01.10
- ②四半期ごとの目標値は年間目標を4等分とする・・・2021.01.10

エネルギー	CO2係数
電気	0.371
ガソリン	2.32
軽油	2.58

環境目標の達成状況（2023年度）

期間：2023年1月～2023年12月

環境項目	対象	基準値	目標値	1月～3月	1月～6月	1月～9月	1月～12月	
1、二酸化炭素 排出量 (kg-CO2)	全体	62,605	目標値	21,201	37,036	43,895	60,602	
			実績	27,212	55,558	68,899	82,822	
			達成率(%)	77.9%	66.7%	63.7%	73.2%	
	電力の CO2排出量 (kg-CO2)	事務所	4,722	目標値	1,201	2,253	3,428	4,571
				実績	1,084	2,067	3,160	4,260
				達成率(%)	110.8%	109.0%	108.5%	107.3%
	電気使用量(kWh)			実績	2,922	5,570	8,518	11,484
	ガソリンの CO2排出量 (kg-CO2)	現場	8,998	目標値	2,902	5,042	6,273	8,710
				実績	2,785	4,578	5,736	7,422
				達成率(%)	104.2%	110.1%	109.4%	117.4%
現場ガソリン消費量(ℓ)			実績	1,201	1,973	2,472	3,199	
軽油の CO2排出量 (kg-CO2)	現場	48,885	目標値	17,099	29,741	34,195	47,321	
			実績	23,342	48,913	60,003	71,140	
			達成率(%)	73.3%	60.8%	57.0%	66.5%	
軽油消費量(ℓ)			実績	9,047	18,959	23,257	27,574	
産業廃棄物 再資源化率 (%)	現場	91.4	再資源化量 (kg)	1,480	174,990	175,580	176,580	
			総排出量 (kg)	1,880	175,380	175,980	176,890	
			達成率(%)	78.7%	99.8%	99.8%	99.8%	
			目標値	94.3%				
			目標達成率	83.5%	105.8%	105.8%	105.9%	
水使用量 (m ³)	事務所	279.1	目標値	67.6	135.1	202.7	270.2	
			実績	46.2	105.0	191.1	255.0	
			達成率(%)	146.2%	128.7%	106.0%	106.0%	
施工精度の向上 (%)	現場	145	目標値	145.0	145.0	145.0	145.0	
			実績	145.0	120.0	115.0	146.0	
			達成率(%)	100.0%	120.8%	126.1%	99.3%	
達成状況 評価	事務所の電力は目標達成、ガソリン、軽油使用量が現場の増加に伴い達成できなかった。 1～3月と同様に現場の軽油使用量が大幅に目標未達成 現場の軽油が未達成 工種や距離に関係なく評価できない基準を見つけない 現場の軽油が未達成 工種や距離に関係なく評価できない基準を見つけない							

※現場の電気を含んだ全社のCO2総排出量は、83825.9 kg-CO2です。
 ※全社のCO2は事務所の電気+事務所と現場のガソリン+現場の軽油の合計とする。
 ※目標値は基準値の3.2%削減を目標とする。
 ※目標と実績は、四半期ごとの累計とする。

CO2排出係数	
電気	0.371
ガソリン	2.32
軽油	2.58

6. 環境活動計画と取組結果及びその評価

取組項目	活動内容	実施状況評価
・電気使用量の削減	①不在箇所、不要箇所及び昼休み時は消灯する	不在・不要箇所の消灯を徹底し、無駄な使用を控えた。熱中症予防のため夏場はエアコン使用時間が増えているが目標は達成した。今後も引き続き実施する。
	②空調の適温化[冷房28℃程度、暖房22度程度]	
	③ブラインドやカーテン植栽等により熱の出入り調節	
・ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 (アイドリングストップ、急発進及び空ぶかし防止)	現場が増えたことなどから目標未達成の月もあったが全体では目標達成となった。引き続きエコドライブ等は徹底する。
	②現場への相乗りを推進する	
	③段取良い前準備で忘物をなくし、折返し運行の撲滅。	
・軽油使用量の削減	①重機類は始業前点検を実施する	基準年に比べて現場増及び重機作業が非常に多くなった事で軽油消費量が大幅に増加して、目標未達成となった。化石燃料は現場の内容に大きく左右される為、評価方法を見直す必要がある。
	②建設機器は、使用しない時はこまめにエンジンをストップする	
	③ダンプトラックや重機はエコドライブを徹底する	
・建設副産物の再資源化率の向上	①資材発注時は仕様書を再チェックして在庫の確認を行い残余材発生抑制	分別を徹底したことから、目標達成した。今後も混合廃棄物の削減に向けて、現場での更なる分別廃棄を徹底する
	②残余材が発生したら、持帰り分別保管(再利用の推進)	
	③廃棄物の処理はできるだけサイクル業者へ依頼する	
・水資源使用量の抑制	①蛇口付近に「節水」を意識させるシール等を貼付する	節水意識が徹底してきている。現場での自然水利用の推進等で水道使用量を抑えていきたい。
	②車両や機器類は、出来る限り自然水を利用する。	
・自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	①環境配慮型の建設機械を使用する	現場では、施工前に現場特有の環境状況を評価して、粉塵・振動・騒音対策を実施している。又、重機等は低騒音・排ガス規制の重機を使用するなど、環境に配慮している。
	②可能な限り、環境配慮型材料等を利用した施工を提案	
	③自主的に騒音・振動・粉塵対策を講じて施工する	
	④創意工夫で工期短縮に取り組む	
・施工精度の向上	①資材発注前の在庫及び設計書の確認徹底	資材発注前には必ず在庫の確認をして残材の発生を防止している。
	②残材防止の為のこまめな発注	

7. 次年度の目標と活動計画

取組項目 目標値	活動内容	推進 責任者
二酸化炭素排出量 60,414kg-CO2	省エネ・省資源活動の推進	森山
・電気使用量の削減 4,557 kg-CO2 (事務所)	①不在箇所、不要箇所及び昼休み時は消灯する	佐藤
	②空調の適温化〔冷房28℃程度、暖房22度程度〕	佐藤
	③ブラインドやカーテン植栽等により熱の出入り調節	佐藤
・ガソリン使用量の削減(現場) 8,683 kg-CO2	①エコドライブの徹底 (アイドリングストップ、急発進及び空ぶかし防止)	森山
	②現場への相乗りを推進する	森山
	③段取り良い前準備で忘物をなくし、折返し運行の撲滅。	森山
・軽油使用量の削減 47,174kg-CO2 (現場)	①重機類は始業前点検を実施する	森山
	②建設機器は、使用しない時はこまめにエンジンをストップする	森山
	③ダンプトラックや重機はエコドライブを徹底する	森山
・建設副産物の再資源化率の向上 94.6%	①資材発注時は仕様書を再チェックして在庫の確認を行い残材発生抑制	坂本
	②残材が発生したら、持帰り分別保管(再利用の推進)	坂本
	③廃棄物の処理はできるだけリサイクル業者へ依頼する	坂本
・水資源使用量の抑制 269.3m ³	①蛇口付近に「節水」を意識させるシール等を貼付る	佐藤
	②車両や機器類は、出来る限り自然水を利用する。	坂本
・自らが施工する土木建築物の環境性能の向上及びサービスの改善	①環境配慮型の建設機械を使用する	坂本
	②可能な限り、環境配慮型材料等を利用した施工を提案	坂本
	③自主的に騒音・振動・粉塵対策を講じて施工する	坂本
	④創意工夫で工期短縮に取り組む	坂本
・施工精度の向上 145.0%	①資材発注前の土在庫確認	代理人
	②残材発生防止の為のこまめな発注	代理人

